

山形市 「やまがた未来賞」の贈呈式 教育、文化発展に貢献の5団体に奨励金 贈る



2025/11/01 朝刊 朝2

日本教育公務員弘済会山形支部（細梅雅弘支部長）による教育文化活動奨励事業「第19回やまがた未来賞」の贈呈式が31日、山形市の山形グランドホテルで行われ、社会、教育、文化の向上、発展に寄与する5団体に奨励金などを贈った。

受賞したのは、鶴岡市の斎小と羽黒小、河北町の谷地高、尾花沢市の二ツ森ゆう大学、山形市の山寺小・中で、地元の伝統芸能や音楽文化の継承のほか、ブナの植樹活動などに取り組んでいる。奨励金は1件当たり50万円が上限。

細梅支部長が受賞団体の代表に受賞盾と目録を手渡し「まさに山形らしい活動で、地域の子どもたちや住民の心に古里への誇りと未来への希望を芽生えさせている」などとあいさつ。受賞団体の代表がそれぞれ「今後も伝統を守り発展させていく」「子どもたちに芸術文化へのより一層の興味を持ってもらいたい」「10年、20年後も継続したい」などと今後の抱負や活動への思いを語った。

選考委員会は、真木吉雄元山形大教職大学院教授が委員長、菅間裕晃元県教育長が副委員長、阿部善和前山形教育用品社長と沢井悌志山形新聞社整理部長が委員を務めた。真木委員長は講評で「活動を継承する子どもたちも育て、さらに発展することを祈念する」と語った。

（近岡国史）

==== 写真説明 ====

5団体が受賞した「やまがた未来賞」の贈呈式＝山形市・山形グランドホテル